

アクセスマップ



電車でお越しの場合

- ◎近鉄京都線
大久保駅より徒歩10分
- ◎JR奈良線
新田駅より徒歩15分

バスでお越しの場合

- ◎京都京阪バス
緑ヶ原口停留所より徒歩1分

車でお越しの場合

- ◎第二京阪道路 伏見ICより21分
伏見ICより油小路通を南下、佐山交差点を左折し、府道15号を約2.1km直進し、右手
- ◎新名神高速道路 城陽ICより10分
城陽ICより国道24号を北上、大久保田原の交差点を右折し、府道15号を約800m直進し、右手
- ◎第二京阪道路 久御山南ICより12分
久御山南ICより佐山の交差点を右折し、府道15号を約2.1km直進し、右手
- ◎京滋バイパス 久御山ICより14分
久御山ICより大内の交差点を右折し、佐山の交差点を左折し、府道15号を約2.1km直進し、右手

医療法人せいふう会

宇治脳卒中リハビリテーション病院

〒611-0033 京都府宇治市大久保町井ノ尻43番1
(代表) TEL : 0774-48-2110 FAX : 0774-48-2130



<https://www.uji-rh.jp/>



@UJI_REHABIL_HOSPITAL

自分らしさをとりもどす、精一杯のお手伝い

宇治脳卒中 リハビリテーション病院



UJI STROKE REHABILITATION HOSPITAL



日本医療機能評価機構
認定済 JC2640号



自分らしさをとりもどす、 精一杯のお手伝い

- 根拠と経験に基づくリハビリテーションを提供し、信頼される病院であり続けます。
- 信頼される医療を維持するため、日々の研修・研鑽に努めます。
- チーム連携により、安全な医療の提供に努めます。
- 患者さまの権利とプライバシーを守り、安心できる医療環境を築きます。
- 常に患者さまに寄り添い、思いやりのある医療の実践を心がけます。

● 理事長 ごあいさつ

植松 正保



1950年に兵庫県猪名川町に今井病院として始まり、その後70数年の歴史を経てきた医療法人“晴風園”は、2024年4月に医療法人“せいふう会”と名称を変更いたしました。

当初は療養型施設が中心でしたが、その後回復期リハビリテーション病床、身体障害者病床、地域包括ケア病床を持つ病院施設も加わり、同時に猪名川町北部の外来診療や介護施設（介護老人保健施設、グループホーム）、また在宅系施設（訪問看護、訪問リハ、居宅支援）を兵庫県東部から京都府南部へと広く展開してまいりました。現在当法人には、伊丹せいふう病院（178床）、阪神リハビリテーション病院（192床）、川西リハビリテーション病院（160床、今井病院から2023年新築移転）、宇治リハビリテーション病院（88床、ほうゆう病院から2023年新築移転）の4病院があります。

宇治リハビリテーション病院は、2025年2月より「宇治脳卒中リハビリテーション病院」へ名称変更しました。

特に脳卒中リハのニーズが高く、リハ訓練機器も当初よりしっかり配備していますので、今まで通りすべての対象疾患に対応しますが、特に脳卒中を含む脳疾患に対してはより専門性を高めていく所存です。これからも高い技術力とチームプレーそして医療力でサポートする回復期リハビリテーションをめざして行きたいと思います。

また外来診療、訪問診療、訪問看護、訪問リハの部門も引き続き運営し、退院後の在宅でのQOLが最善となるよう支えていきます。また地域に密着し、地域から広く患者さまを受け入れるサブアキュートの役割も担っていく所存です。当院は以前から各職員同士のチームワークもとても良く、患者さまには温かい心で接することができるのが持ち味です。

「自分らしさを取り戻す、精一杯のお手伝い」をさせていただきたい、皆さまから「順番待ちでも入りたい、家族を託したい」と思っていただけのような病院でありたい、また「地元を愛し、地元に愛される病院」でありたいと心から願っております。

● 理事長 ごあいさつ

羽渕 義純



【経歴】
1981年 京都府立医科大学卒業
2001年 6月より当院勤務
医学博士
日本臨床検査医学会
臨床検査専門医

当院は、山城北医療圏において50年にわたり地域に根ざした病院として、地域の方々の健康を守ることに努めて参りました。その間常に、患者さまから直にお気持ちやご要望をお伺し、また近隣医療機関からもさまざまなご意見をいただくなかで、どうすれば地域医療により貢献できるかを追求してまいりました。その結果、患者さまが病気や外傷のための急性期治療を受けられた後、ご自宅や社会へ復帰されるまでを支援するリハビリテーションと地域医療連携が当院の果たすべき役割だという結論に至りました。その目標のために2018年11月に当院は生和会グループの一員となり、同グループが長年にわたり蓄積してきたリハビリテーションのノウハウを導入いたしました。それにより2019年7月には回復期リハビリテーション病棟の開設に至りリハビリテーションを中心とした病院として立ち上がりました。さらに2020年6月、生和会グループ内の法人統合により、当院は医療法人せいふう会の一員となり、2023年7月にここ宇治市に「宇治リハビリテーション病院」として新築移転することができました。

新病院開設後も内科、整形外科、外科の各種疾患のリハビリテーションに携わらせていただきました。その中でも脳梗塞、脳出血などの脳卒中疾患は高次脳機能障害を合併することや後遺障害を残すことも多く、その回復期においては身体的なリハビリテーションにとどまらず、退院後の患者さまの生活をも見据えた多職種による様々なサポートが必要になります。当院はこうした脳卒中の患者さまに充分なりハビリテーションとサポートを提供できるように各職種スタッフとリハビリテーション設備を充実させることを最優先の課題としております。その気持ちを表すため「宇治脳卒中リハビリテーション病院」という病院名称を掲げることにしました。この姿勢をもって脳卒中以外の疾患にも同様な熱意で臨み、これまで以上に丁寧なリハビリテーションを提供することを目指し、職員一丸となりなお一層努力する所存です。